

ご支援くださっている皆さまへ

全国的に台風の被害が出ているようですが、皆さまの地域は大丈夫ですか？

前回の新聞に同封した「ボランティア参加者の声」が好評で、何人かの方からメッセージをいただきました。やはり反響があるとうれしいですね！ ありがとうございます！

ご好評にお応えして、今回も学生ボランティア達の声をご紹介します。

=====

「（活動する上で）覚えなければならぬこと」というのは少なく、初日のオリエンテーションのときは「簡単そう！」と思いましたが、そんな安易な考えはダメなのだと思うくらい、とても大変でした。活動初日は想像を超える緊張で、最初の方は上手く話せず、どうしていいかわからず、泣きそうになったこともありました。でも、2日目からは一日が終わるのがあっという間で、住民さんとも密度の濃いお話ができたと思います。

中には、お茶っこさせてくださって、8.11当時の話を話してくださった方もいて、聞いていて本当に涙が出そうでした。小さい子から、お年寄りまで、幅広い年齢の方と出会うことができました。1人1人の言葉がすごく重くて、学ぶことばかりでした。

印象的なことはいくつもあって選べませんが、開成団地で出会ったお母さんと仲良くなれたことが良かったです。そのお母さんは1人暮らしですが、本当に元気でたくさんイベントで8.11のことをお話されている方です。お孫さん2人を両脇に抱きかかえたまま津波にのまれ、1人を流してしまったことをすごく後悔したまま一日を過ごし、翌日奇跡的に、流されたお孫さんが助けられていて、再会できたという素晴らしいお話をして下さいました。お茶っこさせて頂いて、石巻名物のクジラやホヤを使ったお料理をたくさんごちそうしてくれました。名前も覚えてくれて、お母さんと出会えてよかったです。

=====

最後の日に訪問したおばあちゃんとの出会いが印象的でした。震災前にご主人を亡くされ、おひとりでお家で被災されたそうです。「このまま津波にのまれちゃえばいいか」と思ったそうなのですが、ご近所の方が車で助けてくれたそうです。仮設住宅に住むようになってから、「やっぱりこんな辛い思いをするなら、津波にのまれればよかった」と思う日ばかりだったそうです。私は活動中、そのように話す方にたくさん会ってきたので、「うんうん、つらいね。でもせっかくご近所さんから助けてもらった命、息子さんが支えてくれる命だから、前を向いて一緒にがんばりましょう」と言えました。その言葉を聞いたおばあちゃんがどう思うのかわからなかったのですが、「一緒にがんばろう」と言ってくれました。何も起こらないはずの8月11日がたまたま三陸沖で、罪のない人々を殺してしまう日になってしまいました。そのつらい経験を、つらくても話してくれたから私達ができることを精一杯やらなきゃと思えました。

私は教育学科で学んでいて、将来は教員を目指していますが、私は教員生活が終わるまで、震災のことや今回の経験を伝えていこうと決意しました。被災者の方々と話しをしている時に想像してしまって涙がでることもありますが、この8.11をつらい話で終わらせないようにするのが私たちの仕事です。

=====

この活動は、とてもシンプルで仮設住宅に住んでいらっしゃる方と楽しくお話しをするというものです。最初はとても緊張して、足がガクガクして声も震えてしまうと思います。私は特に、人とコミュニケーションをとるのが苦手だったので1日目は精神的にも体力的にもとても疲れてしまいました。ですが、2日目に地元のベテランボランティアさんに「この活動は個性を生かして、自分なりのやり方でいいんだよ。正解なんてないのだから」と言われてから、とても気が楽になり、「会話を楽しむ」「その住民さんとの時間を楽しむ」ということに専念することが出来ました。

私のもっとも印象に残った出来事は2日目にお茶っこをさせて頂いたなまりの強い元漁師のおじいさんです。鯨を獲っていた時のお話しが面白かったので印象に残りました。普段なかなか鯨は食べないですし、縁のない話だったのでワクワクしながら聞かせて頂いていました。また、「普段仮設住宅に一人暮らしをしていて、あまり友達がいないから寂しい」という悩みも聞かせてくれました。だから私みたいな若い人がくると、孫みたいな気がして、つい可愛がりすぎてしまうというような話をしてくれました。とても嬉しかったです。

=====

7～8月の間に、県外からの学生ボランティア約60名を受け入れしました。この活動がなければ石巻に来ることがなかったかも知れない若い人たちに、石巻の仮設住宅に暮らす皆さんと接してもらい、直接生の声を聴いてもらい、感受性をフル活用して、石巻の「今まで」と「いま」と「これから」について感じ、考えてもらいました。これは一番の「震災の風化防止」になると私は思っています。

下記日程で、再刊後初の個人ボランティアの受け入れを行なおうと考えています。「前から一度石巻に行ってみたかったんだ!」という方、「久々に石巻に行ってみようかな!」という方、ぜひご参加ください。

◆第1回きずな新聞配布ボランティア

【日程】10月22日(土)朝集合～23日(日)18時現地解散

【集合】初参加の方…10月22日(土)8時30分／経験者の方…10月23日(土)9時45分

【集合場所】石巻駅から徒歩圏内の場所(参加者にお知らせします)

- ◎現地集合、現地解散です。石巻までの交通費は自己負担をお願いします。
- ◎現地での交通手段はこちらでご用意します(公共交通手段で仮設住宅には行けません)。
- ◎宿泊場所は各自手配をお願いします。希望される方には1泊2000円の民泊をご紹介します。
- ◎参加を希望される方は、下記メールアドレスに氏名、住所、携帯番号、年齢、性別、ボランティア経験、宿泊先の希望有無を記入の上、お申込みください。

今後も月1回ほど、個人ボランティアの受け入れを行なっていく予定です。皆さまにお会いできる機会を楽しみにしています。

2016年9月25日

石巻復興きずな新聞舎 代表 岩元暁子

<石巻復興きずな新聞舎 連絡先>

Tel: 090-6686-8317 Mail: kasetsukizuna@gmail.com

FB: www.facebook.com/kasetsukizuna